第1回定例会 H22年4月27日

完成間近の『やまが湯ノ瀬川公園』の様子を皆で見学しました。今まで夢に描いていたものが現実のものとなり、完成 記念イベントの成功を目指して議論も活発になります。











第2回定例会 H22年5月12日

5月23日の<mark>完成記念イベントに向けて詰めの話し合い</mark>を行いました。また、公園利用の当面のルールについても意見を出し合いました。月に一度の定例会(清掃と会議)が毎月第2日曜日に決定しました。











やまが湯ノ瀬川公園完成記念式 H22年5月23日

グラウンドゴルフ体験やキッズサッカーミニゲーム、Eボート・カヌー体験、うまカレーや花の市などいろいろと準備を 進めてきましたが、当日はあいにくの大雨・・・。屋外でのイベントは中止しまし、しびんちゃ館にて式典を行いました。 約50名の方にお集まりいただき、無事、スタートすることができました。













★現在の活動★

月一回の除草・清掃活動がスタートしました!雨の日もあれば、蒸し暑い日もありますが、山鹿のみなさんが気持ちよく楽しめる憩いの場となるよう、メンバーみんなでいい汗を流しながら、頑張って取り組んでいます。

第3回定例会 H22年6月13日

出水後の対応方法や利活用ルールについて話し合った後、雨も上がったので、除草作業を行いました。







仮設看板の設置 H22年6月23日

有志で集まり、**利活用ルールを掲示した仮設看板**を4基設置しました。







第4回定例会 H22年7月11日

およそ1時間半かけて、芝生の中の雑草の抜根や水際の草刈り、清掃作業を行いました。









★現在の活動★

サッカー利用開始 H22年7月24日

芝の養生期間も終わり、キッズサッカーチームの練習が始まりました。







山鹿FCJ U9のみんなで☆





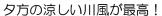
子ども達の練習の合間に、 保護者の方々も<mark>雑草とり</mark>に 汗を流しています! 暑い中、本当にご苦労さま です!!



惣門前ビアガーデン H22年7月24日

「オープンカフェ(河川利活用)社会実験」のお試し会や、「日頃の管理お疲れ様!」という趣旨もこめて、やまが湯 ノ瀬川公園右岸の惣門前でビアガーデンを開催しました。当日はチケット制で、約30名が<mark>菊池川の風景&ビア</mark>を楽しみ ました。







水辺デート(!?)のお二人



惣門は夜の雰囲気が良い とみんな実感。



草刈機投入 H22年9月8日

乗用タイプの草刈り機 (KM950A) が 管理倉庫に納車されました。この機械は 菊池川河川事務所から年間貸与を受けて 借り受けたものです。

草刈り機の投入により、頻繁に芝の手入れが可能になりました!



納車記念に☆



青々とした芝が広がってます

グラウンドゴルフ利用開始 H22年9月16日

草刈り機の投入により、グラウンドゴルフにも適した短い芝をキープできるようになりました。





広々としたコース設定も可能

ナイス・ショット☆

グラウンドゴルフ協会山鹿支部の皆さん



秋のフェスティバル開催! H22年10月17日

日々管理している公園に多くのひとに来てもらうため、秋のイベントを開催しました。「キッズサッカー大会」、「グラウンドゴルフ体験」、「カヌー体験」、「フリーマーケット」、「エコ・モーションブース」、「昔の川とまちの写真展」、「フードスペース」など多くの催しを企画しました。



晴天にも恵まれ、会場には400名 以上、ご来場いただきました!今後の 利活用談義にも花が咲きます☆















月一回の除草・清掃活動や、今後の活動計画についての話し合いを行っています。早朝は冷え込み、清掃活動も大変ですが、メンバーみんなでー

対団はして、公園をきれいにしています 致団結して、公園をきれいにしています。

11月の美化活動 H22年11月12日

早朝からおよそ1時間かけて、芝生の中の雑草の抜根や水際の草刈、清掃作業をおこないました。







大物です!







第6回定例会 H22年12月9日

早くも12月、来年度の活動計画について、話し合いました。









12月の美化活動 H22年12月12日

霧が立ちこめる中、早朝から芝生の中の雑草の抜根や水際の草刈、清掃作業をおこないました。

菊池川からたちのぼる水蒸気で 公園は真っ白!













川標の視察 H22年12月13日

九州大学大学院芸術工学研究院の森田先生・曽我部先生をお招きして、実際に実物大の川標のデザインを湯ノ瀬川公園 において、協議を行いました。



デザインをご指導される森田先生(右)、曽我部先生(左)

実際に現地へ



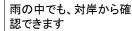






転落防止も兼ねます





やまが湯ノ瀬川公園 劇的リビフォーアフター



